

# おじゃまします



## = 日本と海外（アメリカ）の違い = 栄町を愛する女性の会

11月16日（木）栄町を愛する女性の会が主催する「知って得するシリーズ」の講演会に参加しました。「知って得するシリーズ」は22年間継続している事業です。会を設立した当初、自分たちで企画するためにみんなで一緒に考える内容で、知っておく必要があること、知りたいことを一般社会に向けて発信していけるよう進められ、現在まで続いています。



今回は日本と海外（主にアメリカ）の違い～グローバル化を考えるヒントとして～という内容で講師は栄町在住で学習院女子大学非常勤講師、（株）日立製作所グローバル渉外本部シニアアドバイザーとして活躍している大出隆さんです。初めに外国人と日本人何が違うか知っておく必要があると話され、入社3年目にニューヨークのエレベーターで若い見ず知らずの女性に挨拶されたことがアメリカ人と日本人の違いを考えるきっかけになったそうです。次に国際化からグローバル化へ移り、グローバル化の進展によりおきた世界情勢を知りました。日本は観光立国を目指していますが、訪日観光客がおとす金額は37000億円。なんと栄町の予算127億円の291倍です。在留外国人も多くなっており、栄町でも人口の約1割200人の外国人が住んでいます。単民族社会や多民族社会など日米の違いは沢山ありますが、面白かったのは生活面でレストランでウェイターを大声で呼ぶ日本、呼ぶ時は手で合図するアメリカ、電車の車掌が頻雑にアナウンスする日本、次の停車駅名のみをアナウンスするアメリカ。デパート等で返品コーナーが有る、無しの違いや言葉の語順なども大分違ってきます。

いろいろな日米の違いを知りながら、栄町のグローバル化を考えると房総のむらでの外国人観光客の支出の増加や海外姉妹校提携検討や国際交流協会の設立の検討等が大切になってきます。最後に日本と海外では「異なる文化と価値観」があることを認めることが必要でグローバル社会では異国の多様性を排除するのではなく受け入れる必要があると話されました。日本人として日本の伝統文化や歴史を外国人に話が出来る人材は本当の意味での日本人と言われ、自分自身が歌舞伎や能のことを聞かれても何も答えられないなと思いました。すぐには理解できないこともありましたが、「寛容」の心が大切だと感じました。

栄町を愛する女性の会へのお問い合わせは 吉田さんまで 0476-85-0012

### □■住民活動支援センター新規登録団体■□

平成29年9月以降に登録した団体を紹介します。

| 団体名                 | 分野    | 活動目的  | 活動内容                                 |
|---------------------|-------|---|--------------------------------------|
| 下町を元気にする会           | まちづくり | 安食下町地区を元気(活性化)にするための活動                      | 下町集会所を基点に地元住民が元気に楽しく、高齢者の見守りも兼ねた活動   |
| 辺引霊苑管理組合            | まちづくり | 霊苑の良好な維持管理及び運営<br>会員相互の連携と地域づくり             | 霊苑内の清掃等                              |
| 竜角寺台小学校 PTA         | 子ども   | 子供達が健全な学校生活をおくるために学校と家庭が一体となって学校行事を行うための手伝い | 学校行事等、学校からの依頼に沿って活動する(除草作業、運動会、バザー等) |
| 一般財団法人<br>松木平剛利メモリー | 文化・芸術 | 文化活動に対して、活動している団体を支援する                      | 年1度、活動団体へ助成金を寄与する                    |